

**子ども自身が自分のリスクを把握して、自分で対応するリスクマネジメント力の  
育成を目指した「こころのリスク診断」の共同研究をスタート  
－ポストコロナ時代における多様なリスクに対応するための診断サービスを提供－**

KENTEM（株式会社建設システム）（本社：静岡県富士市、代表取締役社長：重森 渉）は、ポストコロナ時代において、様々なリスクに対応するために、子ども自身が自分のリスクを把握して、自分に合った対応方法を考えるための診断サービス「こころのリスク診断」の研究を教育工学や授業デザインを専門とする国立大学法人静岡大学教育学部准教授 塩田真吾氏と共同で開始いたします。

現在、学校教育では、感染症、SNS、いじめ、怪我など様々なリスクがあります。特に、いじめ等による子ども達の精神的な苦痛が深刻化しています。こうした中、健康観察や SOS 相談機能をデジタル化したサービスが開発されており、学校教員が子ども達の状況を把握し、早期発見するための取り組みが進められています。

しかし、安全教育・安全管理の推進に向けて、大きな障害となるのが教員の業務負担です。教員の働き方改革が進行する中で、様々な問題への個別対応や丁寧な保護者対応が求められます。本来であれば、こうしたリスクに対して、予防的なアプローチが必要ですが、現状はそこまで至っておらず個別の教員への業務負担の増加が危惧されます。

そこで本研究では、KENTEM（株式会社建設システム）と静岡大学の塩田准教授の知見を活かし、診断サービス「こころのリスク診断」を開発することで、子ども達が自身の力でリスクに対し、自身で早期対応できるようなリスクマネジメント能力の育成を目指します。

本教材の特徴は、大きく2つあります。1つ目に、自身のリスクを把握しやすいよう工夫されています。本サービスでは、定期的に精神状況や生活習慣に関する質問に回答することで、その変化量によるグラフやアラートを通して自身のリスクの把握がしやすくなります。2つ目に、把握したリスクを早期対応するための工夫が取り入れられています。リスク対応については、少し先輩にあたる高校生や大学生の調査から、学生時代のリスクとその対応が提示されています。既存のサービスと比較して、新しく2つの機能が導入されることで、子ども達自身でリスクを把握し、対応するための支援ができる教材になっています。

今回のポイント

子ども自身が自分のリスクを把握して、自分で対応する

ポイント① フィードバック機能



- 自分で心や生活時間の状況を把握
- 自分の「リスク傾向」を知る

ポイント② お悩みQ&A機能

新機能



- 先輩に聞いた「悩みの解決法」を掲載
- 自分の悩みに自分で解決策を見つける

自分自身で心や生活の状態を把握し、先輩の「悩みQ&A」から解決策を見つける



イメージ図